

memo

展示室でのメモは  
えんぴつでね！



アカデミア美術館所蔵

# ヴェネツィア・ルネサンス の巨匠たち 展

を、もっと楽しむために

Venetian Renaissance Paintings  
from the Gallerie dell'Accademia

Tokyo: 07/13/2016 - 10/10/2016 Osaka: 10/22/2016 - 01/15/2017

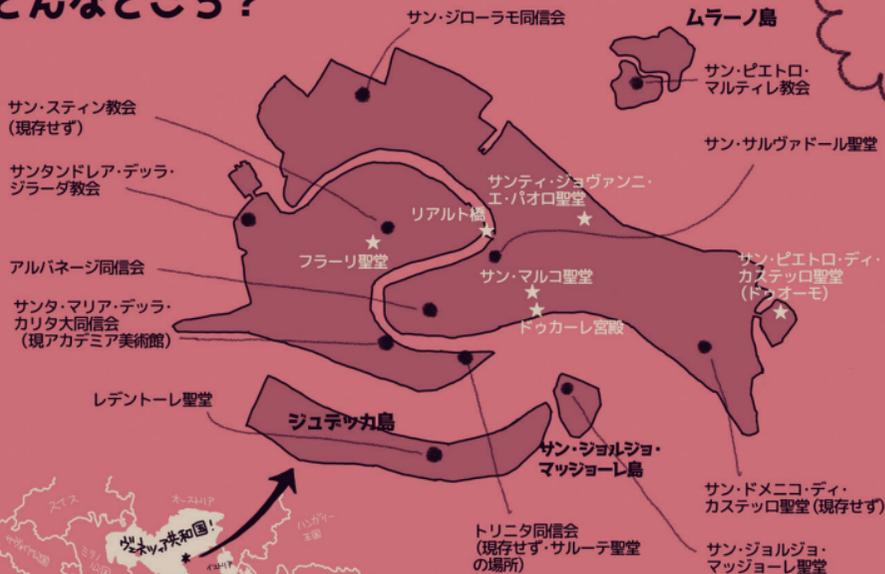
完全非公式  
ガイド!!

めり作  
Twitter: @cari\_meli

※ジョルジョーネは  
出てきません



# ヴェネツィアって どんなところ？



## ラグーナ略図

展示作品に関連する建物の場所が示してあります

## ヴェネツィア共和国ってどんな国？

### 政治

政治体制は、総督（ドージェ）を国家元首にいただく共和制です。特定の個人に権力が集中することのないよう、総督は選挙で選ばれ、独裁的な権力は厳しく制限されていました。

### 宗教

当時の他のイタリア諸国と同じようにキリスト教国家で、その信仰は国の政治や商業など世俗的な事柄ともわかちがたく結びついていました。しかし、どんどん拡大する教皇領とは政治的に衝突することも…

### 交易

その立地から国際的な交易の要所で、東方に対してはヨーロッパの玄関となり、また南方に対しては大陸への入り口となりました。文化的な交流もたいへん盛んでした。



1500年ごろの  
イタリア半島

# ヴェネツィア・ルネサンス絵画の基本のポイント

まずはここを押さよう!!



## 作者 (& 注文主)

絵を描くのももちろん画家ですが、ルネサンスの画家は現代の職業でいうとアーティストよりもデザイナーのほうが近いように思います。作品は基本的に注文制作で、注文主もいろいろ指示を出しました。

また、ルネサンス時代の画家は、自らの意志でなる職業というよりは、家業を継ぐ形でなるものでした。ヴェネツィアはとくに家族経営の工房の伝統が強く、一族がみんな画家という家もあります。工房作品も要チェック!



親の遺産を引継ぎ家族

## メディウム

貿易の要所であったヴェネツィアでは、顔料の貿易もおこなわれていました。絵画に鮮やかな色を与える顔料は、中近東からもたらされるラピスラズリ、石黄、鶏冠石などの貴石をヴェネツィアで加工したものです。

また、潮風に弱いフレスコ画は地理的な問題であまり発展せず、かわりにカンヴァス画が広く受け入れられました。

金箔より高価な青銅顔料  
ラピスラズリは、ラピスラズリを  
細かく砕いて作る

石黄は黄金原料とよばれ、  
かがみく黄金色を出すのに  
貴重されました

1490年代ごろのヴェネツィア  
人気があるまた、鶏冠石は  
赤い色が、顔料を出すのに  
使われていた

## 主題

今回の展示では宗教主題がほとんどなので、キリスト教主題について。ヴェネツィアは聖母信仰がとって盛ん。聖母子や聖母の生涯をあつかった作品がたくさんあります。

また、ヴェネツィアの守護聖人である聖マルコや、ダルマチアの守護聖人である聖ヒエロニムスも人気の主題です。



聖母子と聖ヒエロニムスの  
共演もアリ!

(出品作は、1510年代、  
B. テンブラーの複製(作例から))

聖ヒエロニムスは  
聖書をラテン語に訳した人!  
マルティンの守護聖人でも  
ありましたが、出版文化の豊かにな  
ると、おまじないでよく  
親しまれた聖人です◎

## 場所

作品がどこに置かれることを想定しているのかを  
つねに意識しましょう。公的な場所なのか、私的  
な空間なのか、親しい人たちだけで楽しむのか、  
みんなに見てもらいたいのか…。

場所を定めることは、だれがその作品を見るのか  
規定することにつながります。

だまし絵的なしなげも干渉ワ!  
絵と実際の建築が  
マッチするように描かれている

ジョヴァンニ・ベリーニ  
(サン・ザッカリア祭壇画)  
1505年



# キリスト教の絵が多いけどよく分からない…。



宗教主題の作品が、どのような場所でどのように使われていたのか考えてみて！

## ルネサンスの聖母子像はリアルさで勝負

聖母子像の多くは現在みられるような額縁に入れられた状態ではなく、祭壇に置かれて、礼拝の道具として機能していました。



祭壇は心の目こ補ってね~

ジョヴァンニ・ベリーニ 《聖母子》1485-90年

ビザンティンやギリシアのイコンとちがいで、人物や背景が写実的に描写されているので、まるで聖母子がそこにいるかのように感じられます。



イコンの背景は金七色



これが壁にかけられた状態を想像すると「すぐそこに聖母子がいるように感じられる」感覚がよくわかるかと思います。

あれ、マリア様の衣がごちらかかに…??  
…マリア様も絵が!!

手すりやカーテンなど、境界線とそれを超えるものを画中に描きこむことで、だまし絵の効果も取り入れられました。



カトリック



宗教主題の絵画が社会的・政治的な意味をもつこともあるよ



ヴィットーレ・カルパッチョ 《聖母のエルザベト訪問》1504-08年

## 同信会は宗教と世俗のミックス

同信会(スクオーラ)は基本的にはキリスト教の信者組合なのですが、ヴェネツィアではそれが世俗的な性格を獲得。とりわけ大同信会はヴェネツィア共和国の縮小版といえるような組織に発展しました。

この絵の注文主は大同信会では小規模だけど大同信会になって集会所を装飾する物語画連作を描かせています

## ヴェネツィアは神から与えられた理想都市!?

ヴェネツィアの人人々は、自国がもっとも優れた国であると信じて疑わず、それはヴェネツィアが神によって授けられたからであると主張しました。

ヴェネツィア建国の日は421年3月25日とされていますが、これは聖母マリアの受胎告知の日。キリスト教の恩寵の時代の幕開けと同じ日に設定されているのです。

もともとは行政庁舎に飾られていました。

3枚それぞれの連作のうち、今回は中央パネルのみ果日。

サン・マルコ広場の上に神曲が!!  
この工場面を《受胎告知》のあいたに置くことで、聖母とキリストの物語とつながって建国神話とつながっています

ボニファチオ・ヴェロネーゼ 《父なる神のサン・マルコ広場の観視》1543-53年



# ティツィアーノって 描き方ザツじゃない!?

失礼な！仕事がザツなんじゃなくて、  
当時のニーズに合わせた戦略なんだよ！



努力の跡が見えると  
ダサイ

「一生懸命がんばりました～！」  
感が出るかとカッコ悪い！  
あなたもやすやすと描いている  
ように見せるのが超クールでした。

アワツと来たときに  
ガーツと描くのがよい

過度の丹念さは禁物！ピビツと来た  
ときの勢いに乗って、迅速に描くのが  
よいとされました。ただし、単に  
速いだけで上手くないのはNG。

色彩の美しさや人物  
像の仕上げの滑らか  
さにこだわらず、  
なんでもないこと  
のように描くと◎



ティツィアーノ晩年の筆触  
を支える三つの考え方

思い切りが悪いうえに  
描き出し時点の熱狂に  
よって導かれてもいな  
いごちない作品は、  
ぶざまなだけ



著書『絵画知識』(1977年)から



1546年にパドヴァに  
見た筆触から

質感の描き分けは  
彩色の最重要ポイント

さまざまなモノの質感を色彩によって  
模倣することができる画家こそが、  
真の彩色マスターとみなされました。

人物の肌を年齢、体質、  
階層に応じて描き分けたり、  
さまざまな織物の質感や  
金属の光沢を種類に応じて  
区別するのが色彩の役割



『絵画知識』(1977年)から

著書『絵画知識』(1948年)から

こうした筆触についての評価は…

ティツィアーノの最近の作品は、大まかな斑点 (macchia) で叩きつけるように描かれているので、近くから見ると何かが描かれているのか分からない。ところが遠くから見ると完璧な絵に見える。

伝記作家  
ジョージ・グザヴィエリ



遠くから眺められるものは、それが絵であれ彫刻であれ、美しい粗描きのほうが、完成されたものよりもいっそうの繊細さと、より効果的な力を獲得する。

遠くから見るときは、筆触はむしろ粗いほうがよい！

著書『芸術家列伝』(1568年)から

※ただしグザヴィエリは  
ティツィアーノに対し  
肯定的な評価を  
下しているが注意が  
必要です

ティツィアーノ・ヴェチェッリ  
《愛徳告知》1563-65年



ティツィアーノの  
絵は、最後に指で  
こすったり引っ掻  
いたりして仕上げ  
られていたという  
話も…

まったくシミ (macchia) みたいな塗り  
方だな…

あれっ、この水差し  
だけでも写実的に  
描いてある！



# 16世紀後半の絵画って どれも同じに見える…。

同じだなんてとんでもない！  
よく見ると個性派揃いですよ～！

ヴェネツィア画家の  
伝記作家  
ミレコ  
ボタチーニ



## 早描きティントレット

ティントレットの絵画の特徴は、自由な筆さばきと劇的な構図。それでいてお値段ひかえめ。早い！安い！上手い！の三拍子で、同信会などを顧客に公的空間のための作品を多く制作しました。



でも、  
お祭りのお客には  
召さなかたもよう…  
下手じん  
素描できなない



白のハイライトを  
大胆に置いていく  
のがティントレット流！



## 優等生ヴェロネーゼ

貴族や知識人に大人気のヴェロネーゼは、ヴェネツィア絵画の系譜を意識しながら古典古代風モチーフも積極的に取り入れ、あらゆる方向にアピールできる、非常にパランスの取れた作品を制作しました。そりゃ人気出るわ。



聖の土間に  
ゴッダの  
ゴッダの  
ゴッダの



主題選ばないで  
どわかしが  
アホなりました  
知識が  
即座落ち  
つよい



## 動物だいすきバッサーノ

バッサーノは動物や田園風景の主題が得意！ 田舎生活へのノスタルジアをかきたてたのか、ヴェネツィア都市部に住む富裕層に高い需要がありました。特に人気の出た主題は工房で量産体制へ…。



工房には  
親方の人物素描をスワック  
これを複製用すること  
「バチカノ」の量産が  
可能に！！



自然観察にもとづいた  
牧歌的風景に定評  
があります

## コピペ名人パドヴァニーノ

もはや16世紀じゃないけどいいよね！偉大な画家たちのそれぞれ特によいとこだけを真似て一枚のカンヴァス上でミックスすれば、最強の絵画が誕生する…！これを実践したのがパドヴァニーノです。



女性像は  
ティンターノが  
+  
男性像は  
ミケランジェロが  
最強

ティンターノ作品からいろんな  
モチーフを引っ張ってきて  
ミケランジェロ連作の「つづき」を  
描いたことも…

「バチカノ」  
「バチカノ」  
NO! 構想がオチシ  
タルタロ2オチシです!

